

工場・事業所の防
暑を環境に優しく実
現できないか。水
の気化放熱の原理を
使った涼風給気装置
「クールルーフファン」「ク
ールクリーンファン」な
どのクールシリーズ
はこんな声を受けて
誕生した。開発した
鎌倉製作所（東京都
港区、堀江威史社長、
03・3403・4
311）はルーフファ
ン（RF）など工場・事
業所用換気装置製造
で50年以上国内首位
を維持、顧客志向の
精神が根付いている。

真夏の過酷な作業環境を改善し生産現
場のモラル向上や、人材確保につなげ
たい企業は増えている。が、環境配慮へ
の要求は厳しくなる一方で、エコと防暑
の両立を求める声は強まっている。
クールシリーズはこんなニーズをいち
早くキャッチし、RFを大幅に進化させ
た。外気供給ファンの外側に水を常に流
す特殊エレメントを配置、外気が通過す
る際に気化放熱で冷却される。条件次第
で外気温を最大11度C引き下げられる。
防暑対策でまず連想するのが空調設備

防⽕とエコを両立 ③

モノづくり企業の 競争力強化に貢献

株式会社 鎌倉製作所

気化放熱式涼風装置

クールルーフファン & クールクリーンファン

3つを同時に実現するのは、
気化放熱式涼風装置だけ

お問い合わせ 03(3403)4316 www.kamakura-ss.co.jp

だが、クールシリーズは空調に比べてエ
ネルギー消費効率（COP）が圧倒的に高
い。風量が毎分240立方メートルの「CRF
-30」の場合、COPは17・8。一般
的なエアコンに比べ設置条件によつては
6倍近い。また、空調設備に比べ設置コ
スト、ランニングコストも4分の1程度と
いう。

ユーザーの評判も上々。7年前、本社
第一工場（滋賀県）建設時にクールクリ
ンファンを21台導入したエレベーター製
造会社のフジテックでは「イニシャル・
ランニングコストがケタ違いに安い。涼
しさも申し分なく作業者に大変好評」と

高く評価。近
く稼働する本
社第2工場に
も「迷うこと
なく」26台を
採用した。
製品開発か
ら販売後のメ
ンテナンスまで
顧客満足度を
維持・向上さ
せること―。
これを基本姿
勢にクールシ
リーズの普及
を加速させる
構えた。（PR）



クールルーフファン

クールクリーンファン

